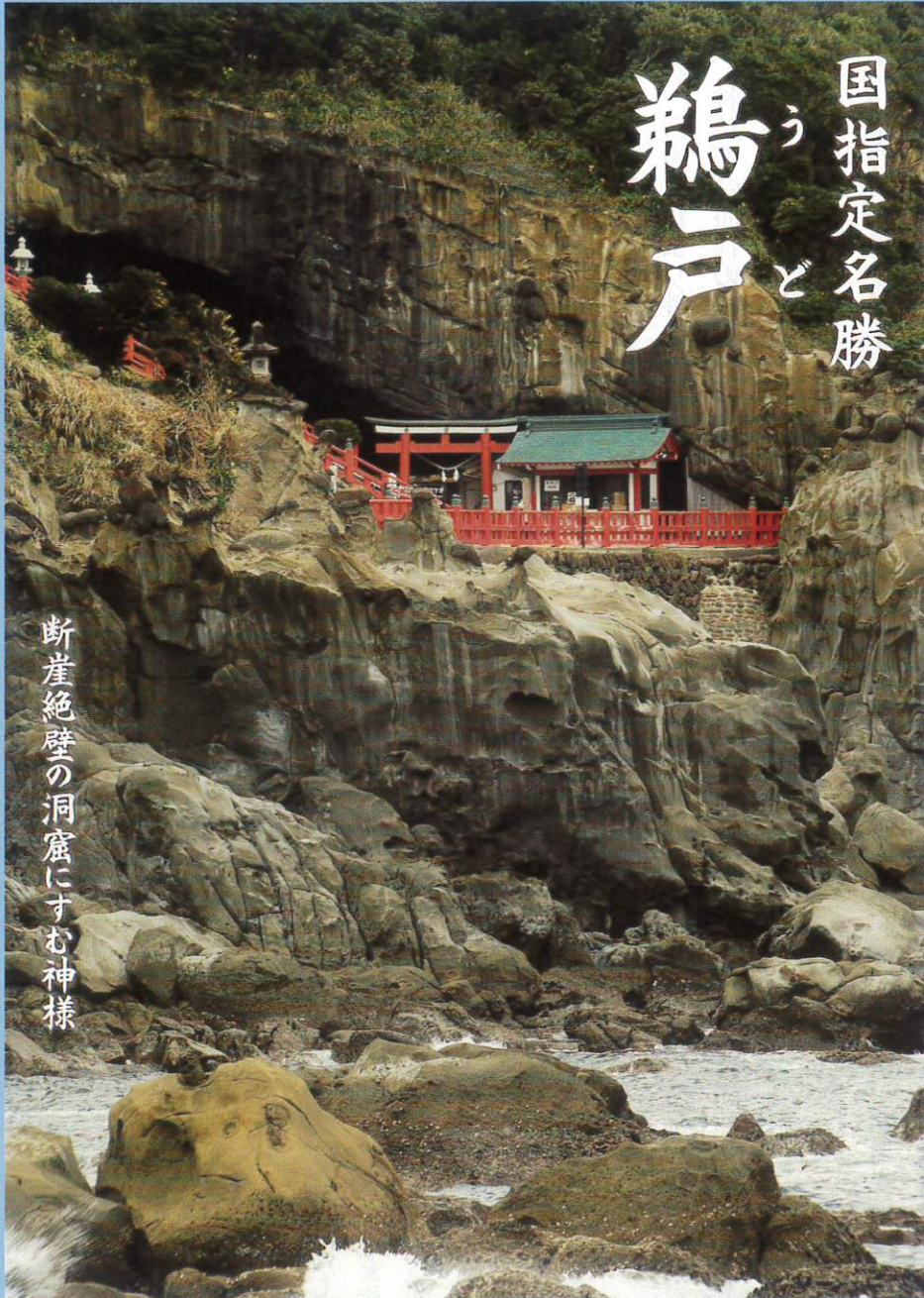


# 鵜戸



奉祝  
天皇陛下御即位三十年

国指定名勝

鵜戸

断崖絶壁の洞窟にすむ神様

提供 国名勝「鵜戸」指定記念

優秀作品受賞

ポスターデザイン募集  
稲用 裕二様(日南市)

〒887-0101  
宮崎県日南市宮浦3232番地  
TEL0987-29-1001 FAX0987-29-1003

鵜戸神宮ホームページ

<http://www.udojingu.com/>

発行者兼編集者  
鵜戸神宮社務所



# 暑中お見舞ひ申し上げます



宮司 本部 雅裕

## 鵜戸を訪れた人々⑦——名越時敏——

皆様にはお健やかに過ごしてのこととお慶び申し上げます。「鵜戸さん」は、真つ青な夏空の季節を迎へてゐます。

さて今年、慶応四年（西暦一八六八）に明治と改元されてより一五〇年の節目の年に当たりますが、その前年、鵜戸を訪れた人に名越時敏がゐます。一千年以上続けられてきた神仏習合が改められ、明治元年より神仏分離の政策がとられますから、時敏は、神仏習合時代の鵜戸六社大権現や、吾平山仁王護国寺を見た最後の知識人（彼は薩摩藩高岡地頭であった）と言へるかも知れません。薩摩藩地頭とは、藩の外城の城主で軍事、警察、地方支配の全てをあづかる職のことです。

地頭、時敏は慶応三年弥生二十九日から、家来八人をお供に六泊七日の鵜戸詣での旅に出かけました。春雨の心配もあ

りましたが、一行は菅笠ひとつを背にして高岡（今の宮崎市高岡）を旅立ち、淡島大明神（青島神社）、内海、七浦七峠を経て、やうやく鵜戸にたどり着きます。

時敏の残した『鵜戸詣道の記』に、次のやうに記してゐます。

この所より僅、坂をのぼれハ辻堂あり。また坂をくだれば、こゝら左り右り僧坊どもなミたり。これより仁王門を通りて仁（王）護国寺あり。裏門より表門へ出て、岩のかたへを通り、板橋を涉りて坂をくだれば、窟の内、鵜戸六社大権現の御社あり。いときら／＼しく、めもかゞやくばかりなり、ふしおがミつゝ、

うごきなきいはほのしたに幾千代の

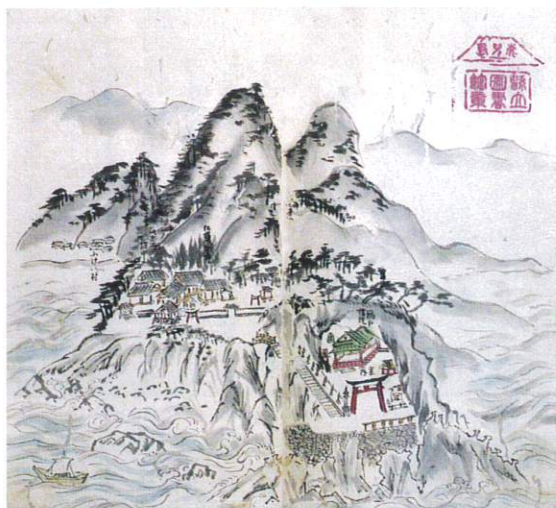
末もはるけき神の御社 （中略）

打寄て浪もくだくるひゞきあり

千代ます神のしたの巖に

なんど口ずさみて、かへりに寺にまかりなば、縁起・絵図なんどもあらん事をおもひて、まかりき／＼しにミなあつれば、御札・縁起・絵図なんどいただきぬ。

（以下略）



名越時敏が描いた鵜戸さん  
左が仁王護国寺、右が鵜戸大権現の本殿

このやうに、八丁坂の両側に辻堂や十二の僧坊があり、仁王門と、当時別当がゐた仁王護国寺が建つてゐたことが分かります。それに板橋（今の霊橋・玉橋）を渡り参道を下つてお詣りすると、窟の内の、鵜戸六社大権現の御社はとてもきらびやかで目も輝くばかりだと、今も昔も変はらない御殿の様子を描写してゐます。そして二首を詠み、帰りには仁王護国寺に詣でてゐます。神仏習合の時代、この二者は隣接して建つてはゐますが全く一緒ではなく、神社と寺院とがそれぞれの信仰を保つてゐたことが分かります。仁王護国寺で縁起すなわち「日州鵜戸山略縁起」をいただいております。

また、時敏は道中十五首の和歌を詠み、「図してかえらなむ」と七葉の写生図を描いて日記に残してゐます。（写真）

次に一行は、桜井、榎原大権現（今の榎原神社）に詣でます。「桜井の宮、その奥に榎原の宮、いづれもきらびやかなれど、（略）ミなあけにぬり、たるき先はめつきかなもの、いと／＼かゞやきわたれり。」と、朱塗りの御殿を記し、「めつきかなもの」、つまり垂木の先は「メッキ金物」で金色に輝いてゐて、たいそう美しかったといふのです。

一行はその後、北郷、山仮屋の関所、清武を経て、神武天皇の御社（今の宮崎神宮）に詣で、出発して七日目には高岡に帰り着き、

菅笠おつ取出しより、けふまで雨にもあはでかへりつきしハなによりも嬉しとて、

菅笠のひとつにしてすむこの旅は

鵜戸のめぐミといふべかりけり 時敏

と、鵜戸の神さまのお陰に感謝して、筆を擱いてゐます。

今も昔も変はらない神々の舞台。悠久の歴史と、青海原の大自然。

どうぞ皆さま、国の名勝「鵜戸」にご参拝下さい。お待ち申し上げてをります。

（参考）名越時敏著『鵜戸詣道の記』鹿兒島県立図書館蔵  
拙著『鵜戸さん—その信仰と伝承—』（増補再訂版）鈺脈社刊





宮司祝詞奏上  
直会



鳥居・石段



二月七日、関係者参列のもと鵜戸稲荷神社例祭を斎行。当神社は、江戸時代後期の安政五年二月、後藤喜右衛門と津田良吉の両名が、京都の伏見稲荷大社から勧請しました。本年は百六十年の佳節を迎へ、記念事業として、京都のご本社参拝、鳥居の建立・石段の改修工事などを行いました。

### 鵜戸稲荷神社例祭



石清水八幡宮  
春日大社参道



伏見稲荷大社



二月二十六日から二十八日にかけて二泊三日の日程で、鵜戸稲荷神社勧請百六十年記念参拝旅行を行いました。今回の記念参拝には眷属・責任役員・氏子総代・鵜戸地区内の二社講・鳥居奉納者から二十四名が参加されました。旅行期間中は天候にも恵まれ一日目、「お稲荷さん」の名で親しまれてゐる、全国の稲荷神社総本宮の伏見稲荷大社を正式参拝。二日目、石清水八幡宮を正式参拝。三日目、奈良の春日大社を参拝しました。参加者の中には初めて参拝される方も多く皆一同に感動されました。

### 勧請百六十年記念参拝



シャンシャン馬道中唄全国大会  
シャンシャン馬道中再現



参進  
修祓



三月二十四日、爽やかな青空の下、春の緑日大祭を斎行しました。奉祝行事として、舞楽蘭陵王・豊栄の舞・鵜戸さん獅子舞・シャンシャン馬道中唄を奉納。翌二十五日には、「シャンシャン馬道中」の再現、その様子を唄にした民謡「シャンシャン馬道中唄」の全国大会も開催されました。

### 春の縁日大祭



献幣使玉串奉奠  
奉納米



献饌  
舞楽 蘭陵王



二月一日、献幣使杉田秀清氏（宮崎神宮宮司）ご参向のもと、責任役員をはじめ県内外より約二〇〇名の参列を賜りました。祭典では、祝詞奏上後、舞楽「蘭陵王」が奏舞されました。また、本年も風田地区と中央町地区より、俵で奉納米をお供へ頂き、夕方には江戸時代から続く歌合戦が賑やかに行われました。

### 例祭



剣道大会



四半的弓道大会



奉祝奉納行事として、二月二日に四寸五分の的に四間半の距離を射抜く「第四十六回四半的弓道大会」を儀式殿前広場にて開催。また、二月四日には剣法発祥の聖地・鵜戸神宮境内で陽光を浴びて戦ふ伝統の野試合「第六十五回鵜戸山顕彰剣道大会」を開催し、県内各地から剣士が集まりました。

### 例祭奉祝奉納行事



浦安の舞  
直会(河野宮崎県知事挨拶)



祝詞奏上  
奉祝行事

二月十七日、年のはじめにあたって穀物の豊穰を祈るとともに、国家の安泰を祈願する祈年祭を斎行。祭典では、五穀豊穰とあらゆる産業の発展を祈念する祝詞を奏上したのち、巫女による「浦安の舞」が奏舞されました。

### 祈年祭

二月十一日、建国記念の日にあたり、神武天皇の建国の偉業を仰ぎ、国を愛する心を新たに、皇室の永遠と国家の発展を祈る紀元祭を斎行。祭典後、奉祝行事として国歌斉唱、紀元祭の歌斉唱、万歳三唱を行いました。

### 紀元祭





鵜戸消防団  
放水訓練



職員による消火活動  
参拝者も参加



一月二十六日、文化財の防災体制の整備や防災対策の強化を目的とする第六十四回文化財防火デーに伴ひ、当宮御本殿にて消火訓練を行いました。  
訓練では、初期消火・通報避難訓練・車輛放水・消火器の取扱訓練を実施。当日は、市教育委員会、消防本部が訓練に参加し関係機関との連携体制の構築・強化を行いました。

### 消火訓練

【抱負】  
初心の気持ちと笑顔を忘れず、目の前の事を一つ一つ全力で取り組んでいきたいと思ひます。



昭和四十六年五月十三日生  
日南農林高校卒

松川 崇子

宮務員  
(まつかわ たかこ)

【抱負】  
何事にも感謝の気持ちを忘れず、相手の立場になって考へ、笑顔での対応を心掛けます。  
当神宮についての理解を深め、多くの方に鵜戸神宮の魅力を伝えられるやう努力してまいります。

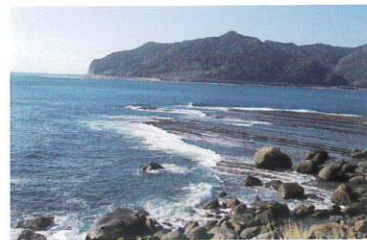


平成七年一月四日生  
名古屋外国語大学  
外国語学部フランス語学科卒

菅原 萌

巫女見習  
(すがはら もえ)

### 新職員紹介



鵜戸千畳敷奇岩(鬼の洗濯板)  
コンクリーション



タクシーの広報ステッカー



三月二十四日、NHK総合テレビ「ブラタモリ」で当神宮が放映されました。  
番組内容は、なぜ宮崎が南国リゾートになったのかと日南海岸特有の地層のことに触れられました。当神宮一帯の地層は約八百万年前の海底に砂や泥が堆積してできた地層から出来ております。当時、地震などで大量の砂が海底に供給されたときに、クラゲやナマコなどの生物を取り込み形成されたのがコンクリーションと呼ばれる丸いボールのやうな塊の岩です。本殿前の広場の奥に多数見られますのでお参りの際にご覧下さい。

### ブラタモリ放映



清祓祭



播種祭



二月十四日、御神田行事の最初の祭典、播種祭をつよし共働センター敷地内で斎行。翌月十五日には、御田植祭の前に御神田を大麻・御神酒・切麻で祓ひ清める清祓祭を地区皇子神社で斎行しました。  
御神田行事は、日本の食文化の基である稲作を後世に伝承するため行はれてゐます。

### 播種祭・清祓祭



御田植祭



水口奉幣の儀  
玉串奉奠



三月二十日、鵜戸地区の御神田にて氏子を始め地元・鵜戸小中学校児童・JAはまゆうの早乙女・関係者約五十名参列のもと御田植祭を斎行。御神田は二アールあり、収穫量は餅米約六十kg・こしひかり約六十kgが見込まれます。  
七月下旬に抜穂祭を予定してをり、収穫された新米は伊勢の神宮と当神宮祭典に供へます。

### 御田植祭



清祓の儀(休憩所前)  
奉告祭



三月二十二日、燈籠奉納奉告祭を御本殿にて斎行しました。  
宮崎市在住の小倉和雄・みい子ご夫妻が鵜戸の大神様の御恵に感謝され燈籠を奉納されました。

### 燈籠奉納



参拝記帳  
運玉投げ



二月六日、御本殿にて広島東洋カープの必勝祈願祭が斎行されました。  
当日は、緒方監督他三名が参列し、多数の報道陣や熱心なカープファンが集まりました。  
日南市でのキャンペーンは、昭和三十八年から行はれてをり、毎年二月に祈願祭を斎行してゐます。

### カープ必勝祈願祭



### いさみ太鼓奉納

五月五日、地元小中学校の児童生徒をはじめ、県内外の子ども七十名が参集し、四十二回目のいさみ太鼓奉納を行いました。

当日、子どもたちはハッピーに鉢巻姿で荒磯に打ちつけ砕ける波の様子を、大小の太鼓と笛・鈴で表現。これに合はせて獅子が舞ひ踊りました。



いさみ太鼓奉納



練習中  
参進



青井阿蘇神社参拝  
総会



国旗手旗製作  
植栽作業

### 敬神婦人会活動

平成二十九年度の鵜戸神宮敬神婦人会(会長長友泰子)の主な活動として、十月にえびの市白鳥神社参拝。十二月、国旗手旗製作及び新年特別祈願撤下品作業。一月、鵜戸恵比須神社御札所助勢。二月、熊本県にて開催の第五十五回九州地区敬神婦人連合会大会出席。ジャカランダ広場にて植栽活動を年二回行いました。



### 編集後記

○社報「第八十六号」をお届けいたします。

○表紙の写真は、当神宮が名勝指定された際に、日南市が募集し、その優秀作品として選ばれた作品です。他にも何点かございますので、今後の社報にてご紹介いたします。

○今回より私が社報の担当となりました。皆様に鵜戸神宮の魅力を出来るだけ多く伝えられるやう努力いたします。

○梅雨明けのみぎり、ご健勝にてお過ごし遊ばれますやう、鵜戸の宮居よりご祈念申し上げます。  
(間瀬田)

